

本年着工 2億9000万円

3月定例会

平成30年度の一般会計・5特別会計・1事業会計の予算案が3月6日に提案され、副町長から新年度予算についての概略説明、各担当課長からの内容説明が行なわれた後、予算特別委員会に付託されました。

委員会において、5特別会計1事業会計は可決され、一般会計は反対多数で否決となり、3月9日の本会議では原案可決しました。平成29年度当初と比較し4%増となりました。主要な要因は建設事業等の増によるものです。特別会計・事業会計は前年度比7.9%の増となり、一般会計を合わ

せた全会計では5%の増となっています。

主たる予算内容

| | |
|----------------|---------------------|
| △歳入 | △歳出 |
| △町税 | △町債 |
| △地方交付税 | △5億2010万円 |
| △国庫支出金 | △芝ざくら滝上公園整備事業（補助） |
| △分担金及び負担金 | △4億4600万円 |
| △戸籍総合システム機器更新 | △ホテル渓谷大型バス購入事業 |
| △更新工事 | △3722万円 |
| △国民健康保険特別会計繰出金 | △滝上高等学校閉校記念事業協賛会補助金 |
| △社会福祉法人滝上福祉補助金 | △370万円 |
| △社会福祉協議会補助金 | △2億9620万円 |
| △道支出金 | △看護師住宅新築工事 |
| △財産収入 | △5962万円 |
| △寄附金 | △生活基盤近代化事業 |
| △繰越金 | △病院事業会計負担金・補助金・出資金 |
| 1億円 | △4億27万円 |
| 610万円 | △特定環境保全公共下水道事業（補助） |
| 120万円 | △模治山事業 |

一般会計

| | |
|------------|---------------|
| △歳入 | △歳出 |
| △2億5540万円 | △2343万円 |
| △22億5000万円 | △2893万円 |
| △475万円 | △戸籍総合システム機器更新 |
| △2億9174万円 | △370万円 |
| △3820万円 | △370万円 |
| △120万円 | △370万円 |

特別会計

| | |
|---------------------|--------------------|
| △後期高齢者医療 | △水道特別会計 |
| △歳出 | △歳出 |
| △北海道後期高齢者医療広域連合納付経費 | △看護師住宅新築工事 |
| △4890万円 | △5962万円 |
| △資本的支出 | △生活基盤近代化事業 |
| △・資本的支出 | △病院事業会計負担金・補助金・出資金 |
| △5962万円 | △4億27万円 |

介護保険特別会計

| | |
|---------------|--------------------|
| △歳出 | △下水道特別会計 |
| △施設介護等サービス給付費 | △特定環境保全公共下水道事業（補助） |
| △1億9500万円 | △1160万円 |

※平成30年度一般会計予算起立採決結果

| 議員名 | 起立（賛成） | 着席（反対等） |
|----------|--------|---------|
| 菅原 賢司副議長 | ○ | |
| 松ヶ瀬 哲朗議員 | ○ | |
| 原田 清二議員 | ○ | ○ |
| 富樫 享議員 | | ○ |
| 大原 淳議員 | ○ | ○ |
| 森田 寛議員 | | ○ |
| 清水 優議員 | | ○ |
| 高橋 浩徳議員 | ○ | |

一般会計

平成30年度予算

総務費
9億6590万円

民生費
5億6314万円

衛生費
3億9161万円

農林業費
4億1076万円

商工費
4億3422万円

土木費
5億4484万円

教育費
2億4488万円

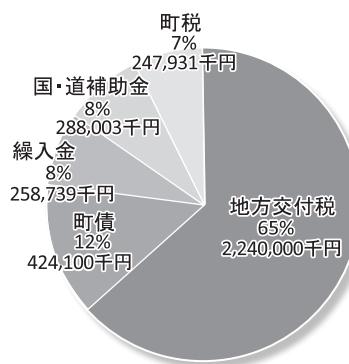
新淨水場

今年度分工事費

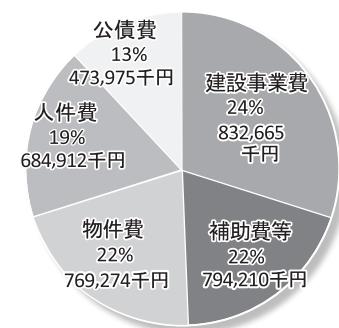
各会計予算額

| 各会計 | 30年度 当初 (千円) | 29年度 当初 (千円) |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 一般会計 | 4,250,546 | 4,087,409 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 50,702 | 46,276 |
| 国民健康保険特別会計 | 306,060 | 415,364 |
| 介護保険特別会計 | 377,163 | 369,153 |
| 下水道特別会計 | 128,409 | 142,230 |
| 水道特別会計 | 351,486 | 119,802 |
| 国民健康保険病院事業会計 | 932,247 | 895,313 |
| 合計 | 6,396,613 | 6,075,547 |

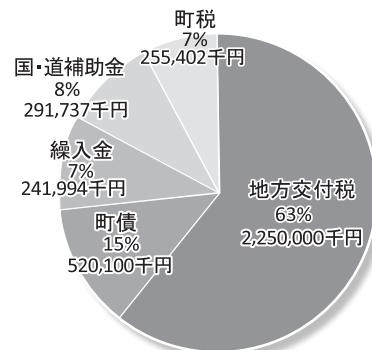
平成29年度歳入性質別



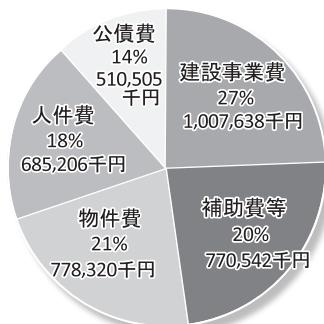
平成29年度歳出性質別



平成30年度歳入性質別



平成30年度歳出性質別



予算を慎重に審議

委員長 大原 満

副委員長 菅原 賢司



総務費

一般会計

歳出

*人事評価制度運営支
援業務 125万円

*人事評価制度運営支
援業務 125万円
△高橋委員▽
具体的に説明願いた
い。

△岡田総務課長▽
人事評価者の研修費
及びその結果の反映手
法検討のための経費。

*登録一斉メール設定
業務 8万円

△高橋委員▽
メールの内容及び登
録者の範囲は。

△山川住民生活課長▽
住民の安心安全に関
わる情報で、例えば不
審者・停電及び避難所
の開設等を考えている。
登録範囲は特に制限
しない。

△松ヶ瀬委員▽
同事業はふるさと納
税やー・ジターン情報

△清水委員▽
税やー・ジターン情報
等の発信源であり、逆
に発行回数及び発行数
を増やして田舎の魅力
を伝えるべきではない
のか。

△高橋委員▽
特別職だけではなく、
各審議会委員や監査委
員についても見直して
は。

△岡田総務課長▽
人事評価者の研修費
及びその結果の反映手
法検討のための経費。
を年2回から1回にする
理由は。

△岡田総務課長▽
行政評価審査会の意
見を踏まえ、発行回数
を年1回にした。

△松ヶ瀬委員▽
ITを活用するのは
結構だが、ふるさと通
信を喜んでいる方は年
配者が多く、町の最新
情報がすぐ届かないの
では。

△齊藤副町長▽
回数を1回にしても
充分な情報は伝える事
ができると判断したが、
様々な提案を踏まえ、
予算の範囲内で2回發
行することで工夫した
い。



ふるさと通信

△清水委員▽
メール配信で良いの
では。
△岡田総務課長▽
メール配信より、町
のHP上で広報誌を見
て頂きたい。

△札幌滝上ふるさと会
補助金 15万円
△菅原副委員長▽
予算がないから発行
回数を減らすというの
はおかしい。逆にふる
さと通信を使ってふる
さと納税を増やすこと
を考えるのが本来の姿
ではないのか。

△齊藤副町長▽
役員会で今年の中止
が決まったとのことだ
が、今年は町110年
の年もあるので開催
しては。

△野尻まちづくり推進
課長▽
△森田委員▽
役員会で今年の中止
が決まったとのことだ
が、今年は町110年
の年もあるので開催
しては。

△野尻まちづくり推進
課長▽
△高橋委員▽
どの分野に配置する
のか。

△バス路線運行維持經
費 1747万円
△高橋委員▽
増額の要因は。

△齊藤副町長▽
年配者のIT環境は
従前よりは整っている
ので1回にしても大丈
夫だと思うが、意見が
あれば再検討する。

予算特別委員会

30年度各会計

△高橋委員▽
観光の具体的配置場所は。

△野尻まちづくり推進課長▽
フレグラムハウスです。

△高橋委員▽
そこは冬期間仕事がないためこれまで残れなかつたのではないか。

△野尻まちづくり推進課長▽

今後は冬期間ハーブの専門的研修や流水観光時に特産品の製造に関わってもらう。

*まちづくり審議会経費△大原委員長▽
(※委員長職を菅原副委員長に交代し、委員として質疑)

△野尻まちづくり推進課長▽
行財政改革を進めるというが、食糧費4万2千円計上されている。もしうるのであれば総合計画策定委員会にも

出さなければならぬのでは。

期成会関係で札幌・東京各2回。

あるが、必要性があるか今後整理して決めたい。

*福祉避難所備蓄品整備事業△松ヶ瀬委員▽
新聞に自治体毎の災害用備蓄品数が出ていた。滝上の備蓄は大変少なかつた。今後どうするのか。

△大原委員長▽
週に一度誰かが出張する計算になる。総合計画策定業務等もあるので、控えるべきは控えて頂きたい。

*地域支え合い高齢者世帯等除雪費助成事業△高橋委員▽
除雪費は業者に全額支払った後、半額補助される。始めから半額支払えば良いようにできなかつた。

△山川住民生活課長▽
非常食900食を今年用意する。また避難施設毎の備蓄計画はないが、今後検討していく。

△野尻まちづくり推進課長▽
意見交換会には委員の方に負担して頂く。

*地域振興事務経費△大原委員長▽
東京ふるさと会関係旅費だが、事前協議のため東京に行く必要があるのか。

*ふるさと会事業旅費△大原委員長▽
△奥田保健福祉課長▽
(※委員長職を菅原副委員長に交代し、委員として質疑)

△野尻まちづくり推進課長▽
普通旅費が増えているがその内訳は。

△野尻まちづくり推進課長▽
事前協議のため1名来て欲しいとの要請が



今年は900食を用意する非常食

△松ヶ瀬委員▽
何十年に一度の災害も想定し、準備を進めて頂きたい。

△高橋委員▽
やり方次第で改善できることもある。町民第一で考えてみては。

△松ヶ瀬委員▽
何年に一度の災害も想定し、準備を進めて頂きたい。

△高橋委員▽
やり方次第で改善できることもある。町民第一で考えてみては。

△奥田保健福祉課長▽
検討してみたい。

設に影響があるような
ら違う方策を考えてい
く。

施設の設置場所や規模で事業費が決まるので、今後精査していく。

▲高橋委員▼
所管事務調査では他

じとのところだった。今
回は使わないとこのの
限だ。

△吉田林政課長△

問い合わせした結果、施設で使う量が確保されれば余剰分は利用できとの答えをもらつたからです。

商工費

議会では当初からスロープを作るべきと言つていたが、しなかつた。なぜこうなったのか。

△星商工観光課長▽
当初は町道側の入口で充分と考えていたが、実際には道道側入口の利用者が多かった。今後は議会と充分協議して進めたい。

△高橋委員▽
実行委員会ではどんな事業を考えているのか。

△星商工観光課長▽
昨年まで、和ハツカは生産者・加工業者で消費拡大を図っていたが、今年から商工会、観光協会も含めた実行委員会を結成し普及に力を入れていく。具体的には札幌圏でのPR活動やイベント及び滝上訪問ツアーの実施。

△和ハツカと香りの里ハーブフェア実行委員会 110万円

△原田ハツカ 110万円



ハッカを使った地場産品

- *童話村ひなまつり事業補助金 70万円
- △高橋委員▽
具体的な内訳は、
- △星商工観光課長▽
ボスター・チラシ製作費30万円、広告費20万円、消耗品費20万円です。
- △高橋委員▽
実行委員会の方が一生懸命やっているのはわかるが、ふるさと通信経費などを削減している。PR規模などを見直しては。
- △星商工観光課長▽
△意見を踏まえ、実行委員会と協議して検討していきたい。
- △町道除雪業務
土木費
△高橋委員▽
△高橋委員▽
△排雪作業中に大雪が降った場合の除雪体制は。

▲安藤建設課長▽ 状況に応じて排雪作業を中断して除雪するなど、臨機応変に対応している。

△高橋委員▽ 除雪の順番等は決まっているのか。

△安藤建設課長▽ 現場の意見や住民の要望に応じて決めていく。

△高橋委員▽ 重要施設等は優先的に除雪しては。

△安藤建設課長▽ データ化はしていなが、そうなるよう努めている。

*災害対策経費
△消防費
△高橋委員▽ 訓練の規模、また参考範囲（警察・関係機関等）はどう考えてい

△山川住民生活課長▽
　　今日は大規模災害を
想定した訓練ではない
ただそういうことが発
生した場合に備え、机
上訓練は進めていきた
い。
△森田委員▽
　　まずは机上訓練をし
それから総合避難訓練
をしては。
△山川住民生活課長▽
　　検討していく。
△高橋委員▽
　　予算の内訳は。
△藤原生涯教育課長▽
　　研修旅行18名分、旅
費262万8千円、現
地費用30万円、閉校記
念式典事務費で70万円
です。

△岡田総務課長▽

△高橋委員▽
寄付者に対しその使い道を連絡しているのか。

△歳入

*一般寄附金
600万円



毎年保守点検が必要なCT撮影装置



ゲートボールの練習風景

△藤原生涯教育課長▽
主にゲートボール協会の使用が増えている。

*室内グラウンド
204万円

目的寄付の場合は連絡している。

△高橋委員▽
利用者が増えたようだが、どのような方が増えたのか。

△検査

*CT撮影装置保守点検
616万円

△三富病院事務長▽
新たに看護師を募集するための旅費は含まれているのか。

*旅費交通費
492万円

△清水委員▽
CTの保守点検料は機械を使っている間ずっとかかるのか。

△三富病院事務長▽
繊細な機械なので、毎年実施していく。

△三富病院事務長▽
少となるが、交付税は5年間既存の病床数分入って来る予定なので、大きく変動しない。

△高橋委員▽
名寄2名、札幌2名分計上している。

△収益的収入

*一般会計補助金
1億7236万円

△高橋委員▽
寄付者に対する使い道を連絡しているのが、将来的にどのように推移するのか。

△長屋町長▽
以前から燃料費なども待遇の中に含まれてきただ。

*医師住宅用燃料費
68万円

△清水委員▽
なぜ、高額所得者の医師の暖房費を町で負担するのか。

△三富病院事務長▽
一般会計補助金、負担金については前年度と同額を計上した。今年から病床数は減少となる。

※平成30年度一般会計予算起立採決結果

| 委員名 | 起立（賛成） | 着席（反対等） |
|-----------|--------|---------|
| 菅原 賢司副委員長 | | ○ |
| 松ヶ瀬 哲朗委員 | ○ | |
| 原田 清二委員 | ○ | |
| 富樫 享委員 | | ○ |
| 森田 寛委員 | | ○ |
| 清水 優委員 | | ○ |
| 高橋 浩徳委員 | ○ | |